

GIO-1: 地域医療における急性期中核病院の役割を理解し、業務を実践できる。

SBO:

1. 地域中核病院における外来・病棟診療を理解し、実践する。
2. 地域の救急医療体制における地域中核病院の役割を理解し、実践する。
3. 地域中核病院の人的資源を活用したチーム医療を理解し、実践する。

GIO-2: 地域医療を支えるジェネラリストの役割を理解し、実践する。

SBO:

1. 臓器横断的に全身を診ることができるジェネラリストの役割を理解し、実践する。
2. 地域医療における急性期・亜急性期・維持期におけるジェネラリストの役割を理解し、実践する。
3. 年齢・性差によらずプライマリケアを支えるジェネラリストの役割を理解し、実践する。

秩父市立病院地域医療研修日程表

	午 前	午 後
月曜日		下部内視鏡検査
火曜日	上部内視鏡検査	
水曜日	ほのぼのマイタウン もしくは 秩父市大滝国保診療所	包括支援センターなど院外在宅看護・介護
木曜日	内科外来 新患予診	
金曜日	小児科外来 新患予診	
土曜日	内科外来 新患予診（第2・4土曜）	休み（関井医師当直の場合は、救急当直）
日曜日	基本的には休日です	

- ・上記週間スケジュールに、希望のオプションをいれるようにしています。
- ・入院患者は5～6名担当する予定です。
- ・火曜日もしくは木曜日は救急当直となります。原則として週1回担当してもらいますが、どちらの日に当直に入るかは自由裁量とします。
- ・希望があれば予定の入っていない午後に、市内開業医の先生にお願いして往診に参加することが出来ます。
- ・放射線科の単純撮影（胸・腹部や四肢など）の撮影方法も希望があれば講習してもらえます。
- ・栄養指導などにも参加は可能ですが、必ずしも特定の日時に必ず行われるわけではありません。指導がある場合に連絡してもらおうことで対応してもらえと思います。
- ・手術や麻酔の実習を希望の場合は、可能な範囲で変更いたします。

秩父市立病院で地域医療研修を

当病院では、平成23年10月から初期研修医の地域医療研修を開始しました。外科・脳外科・整形外科・泌尿器科（透析を含む）・循環器内科・小児科・麻酔科それぞれの科の専門医の協力のもとで、一般内科医がアットホーム的に指導をしております。まだまだ、開始したばかりですが、地域医療研修が実りあるものになるよう病院職員が一丸となって受け入れをしていきますので、ぜひ研修しにきてください。当面は、初期研修医の希望に沿ってのオーダーメイドの研修プログラムを考えております。

秩父市立病院の地域医療研修受け入れについて

平成23年10月から、自治医大附属さいたま医療センターから月にひとりあるいは2ヵ月にひとりのペースで受け入れ開始しました。

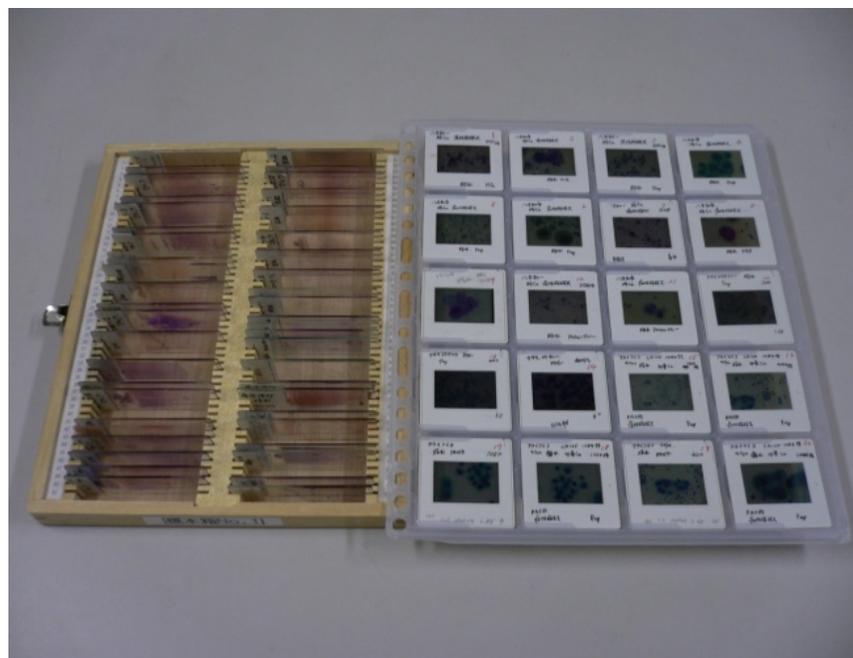
平成24年度内に、市内に8人（男性4人・女性4人）収容可能な談話室・ユニットバス完備の宿泊施設を用意する予定です。

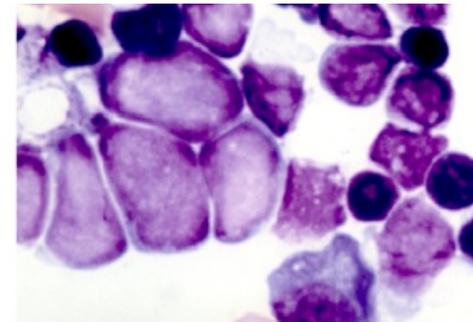
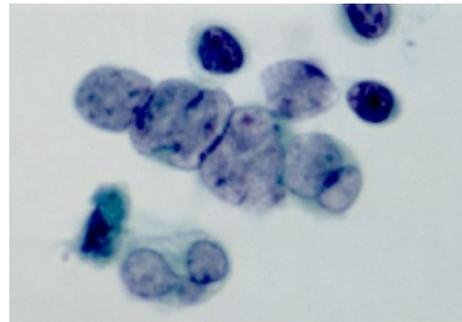
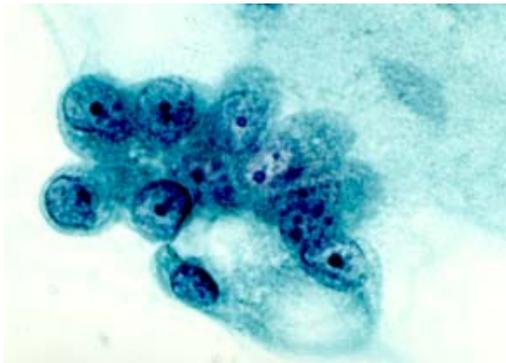
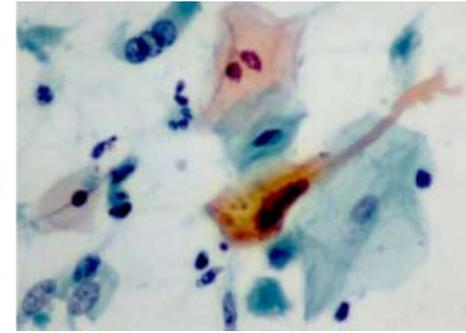
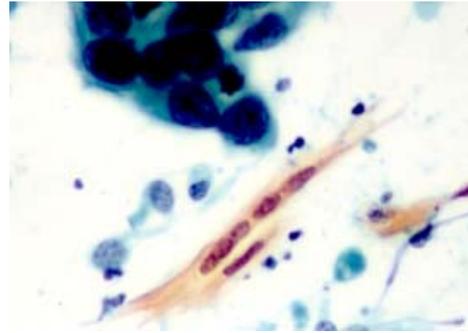
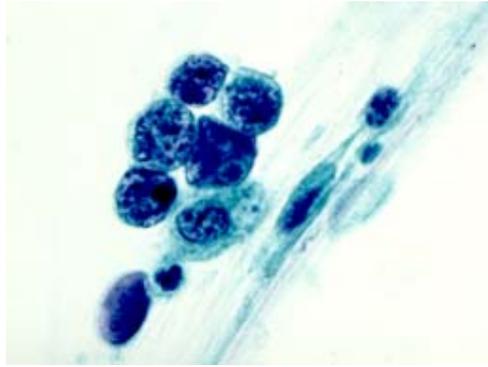
平成25年度からは、埼玉医大国際医療センター・埼玉医大病院からの研修医の受け入れを計画しております。

なお、図書室内研修医用スペースには、院長が後輩の指導のためにと長年にわたって集めてきた貴重なフィルム・スライド・プレパラート・ビデオなどが保管されており、実際に読影・検鏡などができるようになっております。



また、当院で研修を受けた先生方には、院長作成の『後輩の先生方へ「名医（良医）を目指して」すこしでも役立ってもらえれば幸いです。』などの入った2GBのデータを勉強用に用意してあります。ぜひ、目を通してみてください。





連絡先： 〒368-0025 埼玉県秩父市桜木町 8 番 9 号 秩父市立病院

Tel; 0494230611(代表) Fax; 0494230650

地域医療研修の感想（秩父市立病院）

初期研修医 2年 A様

言ってしまうと失礼だが地域医療実習について深く考えていなかったため、どんなことを学ぶか具体的な目標もなく、特段の期待もなかった。秩父という地域についても同様にほとんど予備知識はなく「埼玉でも最も山間の場所」というイメージがあるだけだった。よくわからないが行けばなんとかなるだろうという気楽な心構えで臨んだ実習だったが、地域医療でしか得られないであろう自分なりの成果が得られ満足度 100%で終えることになった。

一つには高齢、医療過疎化地域の医療に興味を覚えたことが新しい発見だった。もともと発展途上国地域の医療に興味があり、平等な医療の普及に関して思いは強かったが大滝診療所や吉田地域の地域包括医療センターを訪れたときに思いがけず同じような思いを抱いた。国際保健医療と地域医療に類似点があると気づくと自然と興味をもつことができた。

二つ目には秩父地域の産婦人科医師との出会いがある。私が産婦人科志望のため病院長の計らいで紹介してもらったその先生は大学の先輩であり産婦人科医であり、大学病院で働いた後に秩父で産婦人科病院を開いている。大学病院に就職したあとの選択肢として地域医療に携わるという道とその実際を具体的にイメージし、自分の将来像と照らし合わせることができた。

まだ研修医の受け入れが始まったばかりの秩父市立病院であり、研修システムは不十分と担当の医師は少し申し訳なさそうに話していた。しかし今後の秩父地域医療をよりよくするために働いている様々な人と一緒に、目指すべき地域医療とはどんなものかを考え、その発展の途中で少しでも身を置けたことが一番良かった。たくさんの人にお世話になりながら得られた成果は今後にも生かしていかなければいけないと思う。

地域医療研修の感想（秩父市立病院）

初期研修医 2年 B様

地域実習を終えて

初期研修のプログラムのうち、地域実習という形で1カ月間、大変お世話になりました。この1カ月間は仕事の内容や環境の変化もあり、とても印象強いものとなりました。環境としては院内の挨拶が徹底されていて、またコメディカルとの距離が近く、働きやすい環境だと実感しました。仕事では、地域がら高齢者の方が多く、入院中のことはもちろん、退院後の地域の連携やフォローアップが大切なことがよく分かりました。

初めての实習受け入れということでしたが、臨機応変に対応していただいたおかげで、検査や外来、病棟業務など種々の場面で学べ、大変勉強になりました。身につけなければならない手技や知識がまだまだたくさんあると感じ、今後の励みになりました。一から準備をしていただき、また細かな配慮をしてくださった病院の皆さま、本当にありがとうございました。

初期研修医（地域医療研修）受け入れ状況

秩父市立病院

年度

派遣元病院名

受入人数

23

自治医科大学附属さいたま医療センター

5名（予定）